



昨年追加刻銘された碑の前で、伊佐文化環境部長の説明を受ける皇太子殿下



平和の火をご覧になる皇太子殿下

皇太子殿下は、糸満市の国立沖縄戦没者墓苑でのご供花をはじめ、平和祈念公園内の平和の火、平和の礎をご視察されたほか、那覇市にある児童養護施設の県立石嶺児童園では三線を演奏する児童らと交流されました。

皇太子殿下がご来県

皇太子殿下が、四月八日（金）から十日（日）までの三日間の日程でご来県し、県内の施設をご視察されました。

また、米州開発銀行（IDB）年次総会関連では、沖縄の伝統芸能等で参加者を歓迎するイベント「沖縄ファンタジア」やIDB総裁主催のディナーにご出席、最終日には、第四十六回米州開発銀行（IDB）年次総会・第10回米州投資公社（IIC）年次総会開会式でごあいさつされました。

なお、皇太子殿下のご来県は、平成十三年の第十二回「みどりの愛護のつどい」以来で、昭和六十二年の第四十二回国民体育大会夏季大会のお成りを含め、四回目となりました。



イグレスィアIDB総裁主催のディナーにご出席



三線を演奏した児童にお声かけ



IDB年次総会でごあいさつされる皇太子殿下

各地で行われたIDB関連イベント

IDB年次総会開催期間中、各地で行われたイベントの一部を紹介します。



座喜味城跡交流ピクニック

四月十一日、世界遺産に登録されている読谷村座喜味城跡では、IDB年次総会参加者と村民ら約九百三十人が交流しました。ライブアップされた幻想的な空間の中、伝統芸能や創作劇などが披露され、フィナーレは参加者が一体となりカチャーシーに興じました。



フェアウェルイベント「音楽とダンスと花火の饗宴」

閉会式終了後、宜野湾市海浜公園多目的広場で開催されたフェアウェルイベントでは、参加者がステージ上の芸能を楽しみながら様々な屋台料理に舌つづみを打ちました。県内で活躍するラテンバンド「カチンバ1551」のステージでは、音楽に合わせて踊りだす人の輪が会場全体に広がり、ラテン色の夜になりました。

さらに、稲嶺知事は次の開催国であるブラジルのミナスジェライス州ブルーマー経済開発局長に三線を贈呈して、開催地を引き継ぐとともに来年の総会の成功を祈りました。

総会のフィナーレを飾った「JAL琉球海炎祭2005」では、約六千発の華麗な花火が沖縄の夜空一杯に広がり、IDB年次総会は幕を閉じました。

